

2024 年 7 月 26 日

**土や砂に「いま、この時」の痕跡を委ね、未来へ遺す
美術家・戸矢 万葉(とや まは)氏の個展をホテルのアートギャラリーにて開催
8 月 3 日(土)～9 月 18 日(水) 入場無料**

京阪グループのフラッグシップホテル「THE THOUSAND KYOTO (ザ・サウザンド京都)」(京都市下京区・総支配人：櫻井 美和)は、ホテル館内のアートギャラリーにて美術家・戸矢 万葉(とや まは)氏の個展を 8 月 3 日(土)より開催いたします。



photo by Shin Yi Yu



photo by Kai Maetani

※画像は戸矢氏の過去の作品です。この度は新作を中心に別の作品を展示いたします。

戸矢氏は、粘土や砂などを焼き、「セラミック」と総称される素材の不変性や恒久性に着目しています。その性質は、電子メディアが発展した現代社会においても変わることなく、痕跡や形を遠くの未来へと残すことができるプリミティブな媒体であると言えます。土器は、欠けや割れがありながらも 1 万年以上、ある種の記録・記憶の形を維持できる素質があります。戸矢氏はその特質と対話を続け、「時の痕跡を残す術」という題材と共に、有限の無限性を追求し、制作をしています。また、焼成過程の中で起こる形や色の変化に委ね、味わいとしながら、陶芸の枠組みにとらわれない表現を試みています。

この度は「溶解のパラダイム」と題し、THE THOUSAND KYOTO のアートギャラリーの空間そのものを使って、人と人、ものと人、そして空間がほどけ、混ざり合うような展示を行います。会期中は入場無料でご覧いただけます。

THE THOUSAND KYOTO は、人にも、社会にも、未来にも心地よい感動体験をお届けする「サステナブル・コンフォート・ホテル」として、京都の文化・芸術活動を応援しています。

戸矢 万葉 個展「溶解のパラダイム」概要

開催期間：2024 年 8 月 3 日(土)～9 月 18 日(水)

場 所：THE THOUSAND KYOTO 1 階 アートギャラリー

料 金：無料

共 催：京都市立芸術大学

＜ギャラリーイベント＞ 30min 展示解説

作品を鑑賞いただきながら、戸矢氏本人による作品に関するトークを行います。

日 時：2024 年 9 月 15 日(日) 15:00～15:30

場 所：THE THOUSAND KYOTO 1 階 アートギャラリー

料 金：無料 (事前のご予約は不要です)

戸矢 万葉 (とや まは)

1991 年生まれ。2017 年京都市立芸術大学院美術研究科陶磁器専攻修士課程修了。近年の活動は「六甲ミーツ・アート 2017」(高山植物園内,兵庫,2017)、「Jakarta Contemporary Ceramics Biennale」(インドネシア,2019)、「渋谷パルコ陶器売り場」(OIL GALLERY by 美術手帖,東京,2021)、個展「溶ける視点」(FINCHARTS, 京都,2022)、「国立台南芸術大学 アーティスト・イン・レジデンス」(台湾・台南,2024)、「Two」(Chin Chin gallery,台湾・台南,2024)などがある。

Instagram : https://www.instagram.com/manyo_0101/

私が芸術を通してできることは、失われそうなもの、残したいものを形におこし、半永久的に壊れず遠くの未来に届けることだと考えています。素材として扱う土や砂は、膨大な情報社会を生きている私たちにとって「そこに在る・ここにいる」ことを認識させてくれます。

土や粘土、砂を焼き、形が生まれたのは、漆と同じ縄文時代です。どれだけの月日経ち、現代に科学的な発展が起きようとも、この素材は今日も変わらない姿で私たちの目の前にありつづけ、形を保つことができます。私はその行為と結果を「時の痕跡を残す術」として捉えています。セラミックベースの作品群は、自身の想像/創造していたものとは異なり、自分の思う形では還元されることはなく、内と外の曖昧さや予想外の変容、空気と空虚を含み性質の変化を遂げ、新鮮な出会いとして目の前に立ち現れます。

この THE THOUSAND KYOTO で作品を展開するにあたり、展示会場奥にある地層のように重なる壁や空間に目を向けました。積み重なり、繰り返すプロセスと空間の中にある空虚、混ざりあう人と人、モノと人の関係性は「溶解のパラダイム」とも言えるのではないのでしょうか。

(戸矢 万葉)

アートギャラリーについて

千年の都・京都でこれまで発展し続けてきた芸術文化を、絶やすことなく次の千年につなげたい、という思いから 2023 年 2 月に新設しました。アーティストの方への貸出や、京都で芸術を学ぶ学生の方々や若手アーティストの方への発表の場創出のほか、SDGs に関連する啓発・PR 活動、催事スペースとして活用してまいります。



SDGs を実現するライフスタイルを提案する

京阪グループの「BIOSTYLE PROJECT」について

健康的で美しく、クオリティの高い生活を実現しながら、SDGs の達成にも貢献していく。京阪グループでは、そんな循環型社会に寄与するライフスタイルを「BIOSTYLE(ビオスタイル)」として展開し、お客さまにご提案しています。規制や我慢だけから生まれる活動ではなく、“人にも地球にもいいものごとを、毎日の生活の中に、楽しく、無理なく、取り入れていくことができる明るい循環型社会の実現”に貢献するため、京阪グループにできる様々な活動を推進していきます。

KEIHAN
BIOSTYLE
PROJECT

京阪グループのSDGs ビオスタイルプロジェクト

▶THE THOUSAND KYOTO は、2022 年 7 月に「千年ホテル」へリブランドし、快適さとサステナビリティを追求する京阪グループのフラッグシップホテルとして、BIOSTYLE PROJECT に認証されています。「千年ホテル」ならではの快適×サステナブルな体験やアクションを展開してまいります。

▶「BIOSTYLE PROJECT」について詳しくはこちら

<https://www.keihan-holdings.co.jp/business/biostyle/>

THE THOUSAND KYOTO(ザ・サウザンド京都)

所在地：〒600-8216 京都市下京区東塩小路町 570 番

アクセス：JR 京都駅より東へ徒歩約 2 分

階数：地下 1F～地上 9F (客室:3F～9F/222 室)

H P :

<https://www.keihanhotels-resorts.co.jp/the-thousand-kyoto/>



＜このリリースに関するお問い合わせ・ご取材のお問い合わせ＞

京阪ホテルズ&リゾート株式会社

ザ・サウザンド京都 広報担当／セールス&マーケティング部

TEL : 075-351-0337 FAX : 075-343-3722 Email : press@keihanhotels-resorts.co.jp